

# もり はじ きよてん 森林から創まる「ちくさの拠点」づくり

— みんなで進める地域の基地づくり —

6月6日に「第11回千種生活圏の拠点づくり検討委員会」を開催しました。今回の委員会で、拠点施設の位置づけを整理し、千種生活圏の拠点づくり計画のまとめを行いました。

## <拠点施設の位置づけ>

市民局の位置は敷地が狭く、エーガイヤも施設を拡張する余裕が少ないことから、「市民局の拠点」と「エーガイヤの拠点」の2か所の拠点施設をベースに考えていきます。

市民サービスのワンストップ化、活動や情報共有の場となる賑わいの空間づくりを行い、地域内外から多くの方が集まりたくなる拠点施設となるように検討していきます。

また、市民局とセンターちくさは施設を統合し、より使いやすい施設として整備します。

## 2か所の拠点施設の例

(参考) 前号のC案

【市民局側】 【I-ガ イ側】

<p>市民局 機能</p> <p>〔自治会・防災 産業・建設〕</p> <p>センター ちくさ</p> <p>施設統合</p>	<p>市民局 機能</p> <p>〔医療・年金 戸籍・税〕</p> <p>保健福祉 センター</p> <p>エーガイヤ の機能強化</p>
---	---

## <拠点づくりの概要>

市民局やエーガイヤという2か所の核となる施設とその周辺を拠点として、今ある資源を有効に活用しながら「地域づくり」「人づくり」「健康づくり」など千種町の将来につながる拠点を形成します。

また、「集う」ということをキーワードに、今ある特色を強みに変えながら、拠点に賑わいを創出し、商店街が線となって拠点を結ぶことで、将来にわたって持続可能な地域づくりを進めます。

### 【拠点づくりに向けた主な取組】

- 世代間・地域間の交流促進（賑わいの空間・支えあいの体制づくり）
- 生涯学習・文化活動の推進（コミュニティ・生きがいづくり）
- 買い物の場などの維持・確保（利便性・生活に必要な機能の維持）
- 地域の魅力向上や情報の発信（魅力ある子育て・教育環境、地域情報）
- 安全安心の拠点（災害時の避難所機能・防災力向上）

<今後に向けた委員会での意見（抜粋）>

- ・ 木造にこだわらず、狭い敷地を有効活用できる高層建築も検討されたい。
- ・ 維持管理費を捻出できる収入源のある施設としてもらいたい。
- ・ 市民が気軽に入れるような場所や多くの人が集まれるホールは必要。
- ・ 拠点には核になるものが必要。集いの場所ということだけではなく、市民が必ず訪れる場所づくりをしてほしい。そのためには、住民票や戸籍など身近な窓口機能が市民局とエーガイヤのどちらの拠点にも必要ではないか。
- ・ 子どもが遊べる場所がないと子育て世代は集まらないと思う。エーガイヤも子どもの年齢が上がるにつれて利用する機会が減ってしまう。新しい拠点には、気兼ねせずに使える子どもの遊びの場があればいいと思う。
- ・ 駐車場が狭いと子どもの乗り降りに気を使うので、広いスペースがほしい。
- ・ コンビニのように 24 時間開いている地域の人への拠り所になるような拠点であってほしいと思う。
- ・ 生きがいにつながる文化的な取組が継続できるような施設にしてほしい。
- ・ これからの人口減少を考えて、維持管理費の掛からないようなコンパクトな施設としてもらいたい。
- ・ 拠点として、交通の要衝として機能するようにしないといけないと思う。
- ・ 消防団の車庫等については、消防団とよく相談して決めてもらいたい。

※ 会議録は市のホームページで掲載しています。

※ 「千種生活圏の拠点づくり計画」は、細かな点で修正を加え、委員の皆様  
に再度ご確認いただいた後、市ホームページに掲載します（7 月中を予定）

<今後について>

計画の策定に向けた議論は、今回の委員会で一区切りとなりました。今後は、  
計画をもとに拠点づくりに向けた取組や拠点施設の整備を進めていきます。

拠点施設の具体的な形が見えてきた段階では、委員会の皆様や地域の皆様から  
もう一度意見をお聞かせいただき、より良い拠点となるようにしていきたいと  
考えています。

■ 千種生活圏の拠点づくりに関するお問合せ先

穴粟市役所企画総務部 地域創生課

電 話：0790-63-3066

FAX：0790-63-3060

e-mail：chiikisosei-kk@city.shiso.lg.jp

千種市民局まちづくり推進課

電 話：0790-76-2210

FAX：0790-76-8020

e-mail：ch-machizukurisuishin-kk@city.shiso.lg.jp

